

地域のコンテクストを活かした ヒューマンスケールの街づくり

かぎ型路地のある環境共生住宅地

区画整理事業の課題

種のある細路地が残り、路地園芸等のしつらえに雰囲気がある。だが通常の区画整理事業では、既存のまちなみの特性を活かすことは難しい。



●クラック道路による区画整理事業
種のある細路地の雰囲気を残し、一方で自動車の通行経路を確保する。少ない変化で安全性を高めるため、既存の路地の線形を活かし、クラック道路を多用した区画整理事業を行う。

- メリット
- ・自動車のスピードを抑制
 - ・交通量の減少
 - ・消防車の到着経路を確保
 - ・既存住宅の建て替えが可能
 - ・迷路のような路地を歩くワクワク感
 - ・都市計画道路上の公園を分散しない道路計画

区画整理事業の手法

- 通り抜け緑地
空地の活用・突き当たり住宅の飛び換地により、緑地を確保し、路地の行き止まりを解消する。
- 住宅ニーズによる居住地の入れ替え
駐車場や空地に環境共生住宅を建設し、地区内のニーズに合わせて居住地を入れ替える。



市民の憩いの場となる緑豊かな公園

都市計画道路の地下化

都市計画道路は地下化することにより、上部を公園として立体的に有効活用でき、区画整理による減少率も小さくできる。

約1haの近隣公園

オープンスペースの少ない地区内の中心に、約1haの近隣公園を確保できる。また周辺緑地や街路樹との緑の連続性も生まれる。災害時に避難場所となり、市街地の防災機能が大幅に向上する。

街並み分断の回避

地下化により、旧日光街道の街並みや住宅地の街並みの分断を回避できる。

環境に配慮した道路

換気設備には、光触媒や土壌による排気ガスの浄化装置を導入し、排気ガスの拡散を防止して沿道環境に配慮する。

街の顔となる追分スクエア

かつての追分の街角を再生

日光街道と奥州街道の分かれ道「追分」の歴史的風景を再生し、街の顔としての賑わいを取り戻す。

トランジット拠点の充実

LRTバス総合案内所・駐輪場の整備により、乗り換え拠点の機能を強化する。



生活サービス機能の充実

地区内に不足しているクリニック・子育て支援・行政サービス等の生活サービス機能を駅前立地させて、公共交通とリンクした利便性の高い拠点とする。

●生活サービス機能の充実
地区内に不足しているクリニック・子育て支援・行政サービス等の生活サービス機能を駅前立地させて、公共交通とリンクした利便性の高い拠点とする。



街のへそとなる街かど広場と宮カフェ



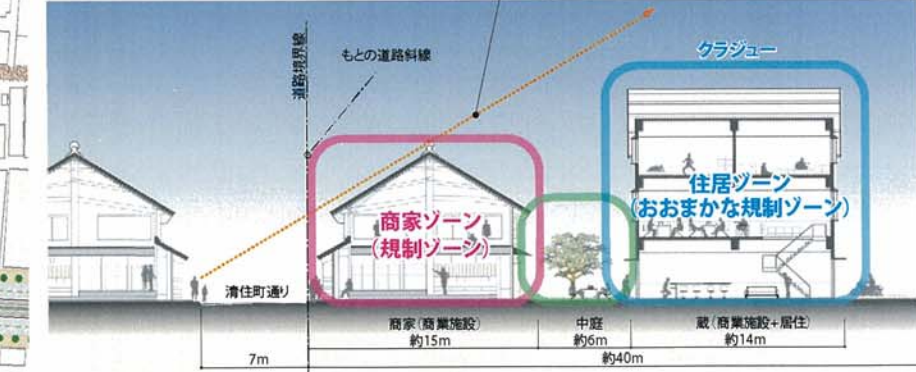
- シンボル景観の創出
街区内の既存の蔵とともに、シンボルツリーを植えることで、新たなシンボル景観を生み出す。
- 共同建替による街かど広場の整備
既存の蔵の保全と、街区内の店舗との共同建替により、新たな街角広場を設け、自治会のイベントや祭りの際に活用する。(例:もったいないフェアなど)
- 地域のサロンとなる「宮カフェ 清住町通り」
地下階、1階部分には街区内の既存店舗、2階部分に宮カフェを設ける。宮カフェ内には、地区内の建築士相談の拠点を設ける。
- 歩行者回遊動線の要
周辺の社寺、都市計画道路上の公園、釜川の敷設路と清住通りを結び、歩行者回遊路を要とする。

賑わいを織り成す新旧の店舗



●高さ規制による小幡・清住地区らしい街並み景観形成
清住町通りに接する小幡敷地は、2つのゾーンに分け、ゆるやかな高さ規制を行うことで、既存の商家や社寺を引き立てる景観形成を行う。

- ・商家ゾーン
→ 2階建て(既存商家を越えない程度)+専任規制
- ・住居ゾーン(クラージュ)
→ 4階建て(清住通りから見えない程度)



●見世蔵を活かす清住町通りの意匠規制
江戸・明治期の町割りを活かし、間口5間のモジュールを用いて街並みを構成する。また、屋根形状や庇、壁面等は既存する商家をもとにデザインコードを用いて街並みの連続性を再生する。

